

もっ／  
行きたい



## こども本の森 中之島

Nakanoshima Children's Book Forest

こどもたちに多様な本を手にとってもらい、無限の創造力や好奇心を育てほしい。自発的に本の中の言葉や感情、アイデアに触れ、世界には自分と違う人や暮らしが在ることを知ってほしい。「こども本の森 中之島」は、そんな想いでつくられ、建築家である安藤忠雄氏が設計・寄贈した、こどものための文化施設です。



写真(上・下)／伊東俊介

### こども本の森 蔵書紹介

こども本の森 中之島では、さまざまなジャンルの本を12のテーマにわけて並べました。こどもたちの日常生活や好奇心に寄り添う、それぞれのテーマについて紹介します。

#### 1.《自然とあそぼう》

花や植物、川、山、空など自然環境について知るための本

#### 2.《体を動かす》

サッカーや野球などスポーツの本、人の体について知る本

#### 3.《動物が好きな人へ》

犬や猫、鳥に魚に昆虫、恐竜や幻の生物など、いろんないきもの本

#### 4.《まいにち》

家族や友達、学校のことなど、毎日の生活に関する本

#### 5.《食べる》

おいしそうな食べ物やごちそうが出てくる本や料理のつくり方の本

#### 6.《大阪→日本→世界》

大阪から日本、そして世界のことを知るための本

#### 7.《きれいなもの》

世の中にあるさまざまな「きれい」に触れる本

#### 8.《ものがたりと言葉》

言葉や文章の持つ重みや繊細さを感じる本

#### 9.《未来はどうなる?》

自分たちが生きていく未来の社会について考えるための本

#### 10.《将来について考える》

どんな大人になっていきたいか考えるための本

#### 11.《生きること／死ぬこと》

生きること死ぬことについて考えるための本

#### 12.《こどもの近くにいる人へ》

子どもの近くに生きる大人の悩みに寄り添う本

〈こども本の森 中之島〉は、みなさまからの寄附によって成り立っています。詳しくは公式サイトをご覧ください。

### 【基本情報】

入館には事前予約が必要です。〈こども本の森 中之島〉公式サイトをご覧ください。

公式サイト：<https://kodomohonnomori.osaka/>

**住所：**〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-28 **開館時間：**午前9時30分～午後5時まで

**休館日：**毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日は休館)・蔵書整理期間・年末年始

**利用対象者：**乳幼児から中学生までをメインターゲットにしています。 **入館料：**無料

**駐輪場：**33台 ※一般の駐車場はありませんので、ご注意ください。 **問い合わせ：**06-6204-0808

## 今川と桜並木

東住吉区の今川沿いは大阪市内でも桜の名所となっていますが、かつては秋の紅葉で知られた場所でした。この川はかつて上町台地の東側を南から北へと流れ、駒川や、大和川付け替えに伴い流れがかわる前の西除川<sup>にしよけがわ</sup>などとともに、平野川、そして大和川の本流へと流れ込んでいた川筋の一つでした。

江戸時代には堤<sup>うしろ</sup>に漆<sup>はぜ</sup>あるいは櫨などを植え、堤を補強するとともに産業の助けの一つとしていました。秋にはその紅葉で有名となり多くの人でにぎわいました。桑津のあたりでは奈良街道も通り、多くの往来があったようです。桑津では「しんこ餅」など名物もあったと伝わります。

水源にとぼしいこともあり、近代に入り荒れてしまった時期もありましたが、戦後に河川改修され、駒川と同じく高度処理された下水が流されるようになりました。鉄製の矢板で囲まれているところもあって往時の様子は失われましたが、きれいな流れを取り戻しています。

漆や櫨の木は枯死したり、第二次世界大戦時に燃料不足で切られるなどしたりして減少し、それにかわって桜が多く植えられています。その長さは3kmにもおよびます。川沿いには公園も設けられ、東住吉区今川一丁目では「うろし堤公園」として名が残され、すこし南の中野三丁目の今川緑道には堤を顕彰する石碑や川の整備を記念する石碑なども建てられています。これから桜やユキヤナギが美しい季節となります。歩いてみてはいかがでしょうか。

(大阪市教育委員会事務局 文化財保護課)



桑津今川堤の顕彰碑(東住吉区中野3-5)



おおさか

## 歴史探訪

165

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。